

平成28年度 患者満足度調査の実施結果について

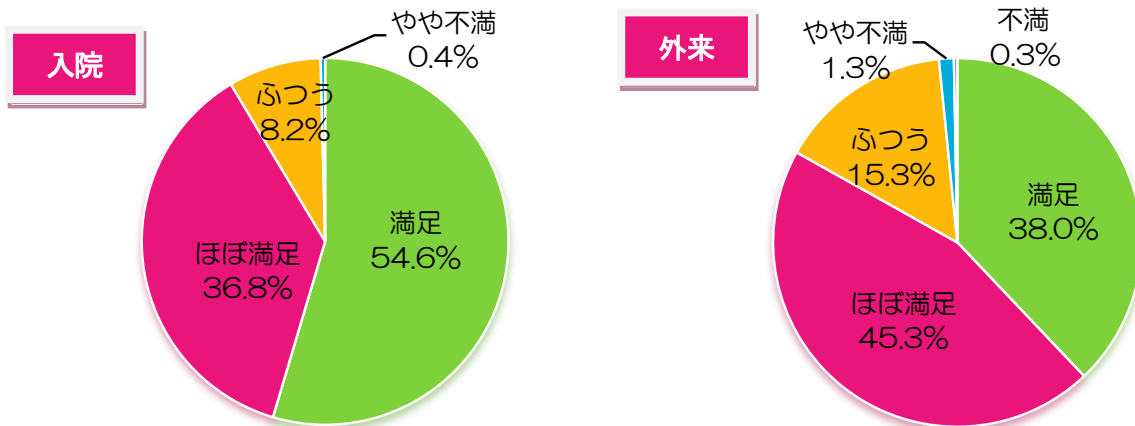
当院では、患者さんの率直な声をお聞きして、より良い医療サービスを提供することを目的とした『患者満足度調査』を年1回実施しております。調査期間中は多くの患者さんにご協力をいただき、ありがとうございました。以下に調査結果の一部をご紹介します。

◆ 調査概要

区分	実施期間	回収状況
入院	平成28年12月5日(月)～18日(日)14日間	304枚(279枚配布、回収率91.7%)
外来	平成28年12月7日(水)、8日(木)2日間	500枚(493枚配布、回収率98.6%)

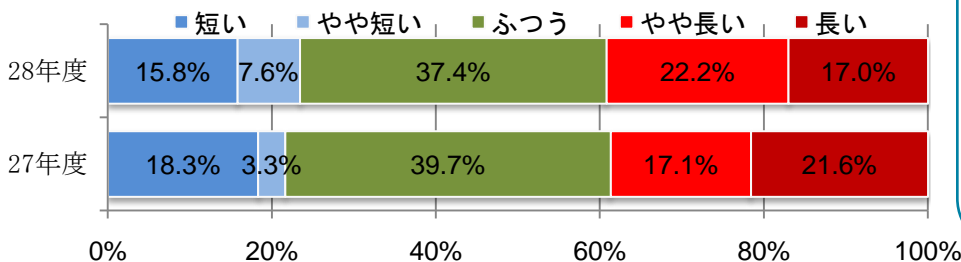
◆ 調査結果(抜粋)

- 「全体として、この病院に満足していますか？」



入院で91.4%、外来で83.3%の患者さんから、「満足・ほぼ満足」の回答をいただきました。昨年度と比較すると、入院で0.1ポイント増、外来で2.2ポイント減という結果となりました。

- 「待ち時間をどう感じましたか？(外来)」



満足度が向上した一方で、待ち時間については「長い・やや長い」と感じた患者さんが39.2%でした。昨年度と比較すると0.5ポイント悪化しました。

アンケートの結果は、医師、看護師、事務等、各部門で確認し、サービス改善に取り組んでいます。今後とも、患者さんに満足していただける病院を目指し、サービス向上に努めてまいります。

♪ お問い合わせ 庶務課企画係 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

今月の医療 外科

総合がん治療

日本人の死亡原因は、1位は「悪性新生物(ガン)」、2位が「心疾患(心臓)」、3位が「肺炎」、4位が「脳血管疾患」、5位が「老衰」となっています(2015年)。

生涯、がんで死亡する確率は、男性25%(4人に1人)、女性16%(6人に1人)とされています。しかし、がんといっても胃・大腸カメラで取りきれてしまうものから、他臓器に転移し治療困難なものまで様々です。

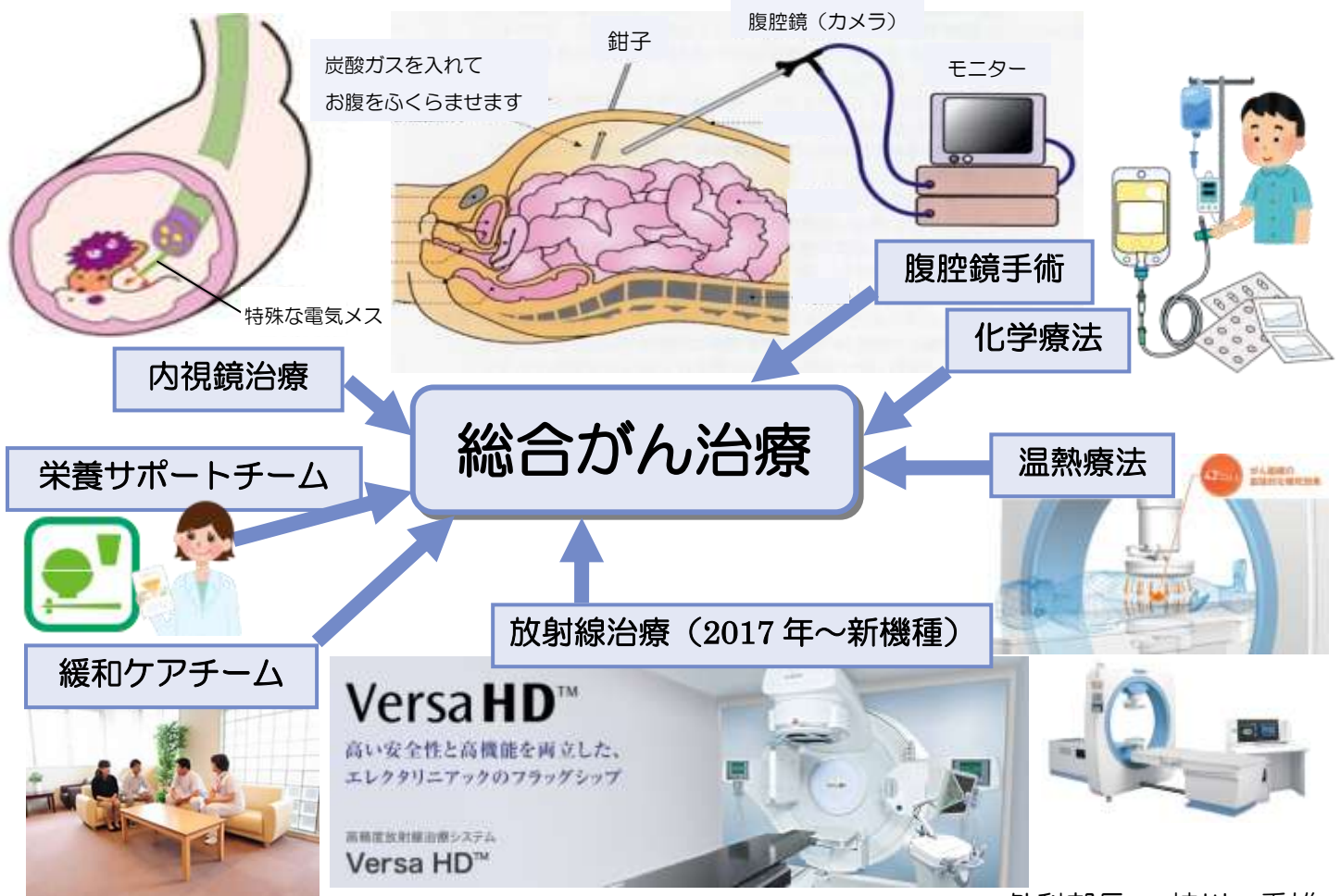
つまり、がん治療には個々に適したテーラーメイド治療が必要です。そのためには治療の選択肢(総合治療)が必要です。手術(腹腔鏡手術)、内視鏡的治療、化学療法(抗がん剤・分子標的薬・ホルモン剤)、放射線(温熱治療)、栄養サポート、症状緩和など様々ながん治療が進歩しています。

当院でこれらのがん治療がすべて最善で選択できるよう日夜準備しております。

がん治療に関することなんでもご相談ください。

2014年のがんの死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸2位、直腸9位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位



外科部長 桂川 秀雄

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。